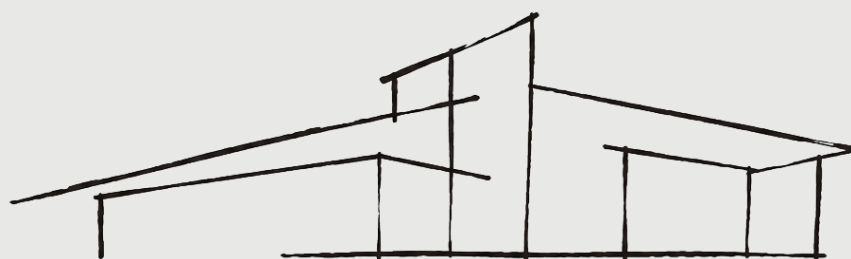


居心地のよい場をつくり、
未来を育む建築を。

Architecture that grows with people and place.



Hidekazu Kataoka

Architect & Associates

株式会社片岡英和建築研究室

CASE STUDIES | 2026



株式会社SAITO稲荷新社屋

【基本情報】

所在地：京都市
 主要用途：事務所／オフィスビル
 従業員数：36名
 敷地面積：1,292.27m²
 建築面積：429.62m²
 延床面積：737.33m²
 規模：地上2階建
 主体構造：木造（在来軸組 + CLT）
 建設費：約 330,000,000 円（税抜）
 省エネルギー：Nearly ZEB
 補助金：JAS 構造材実証支援事業
 新築建物 ZEB 普及促進支援事業

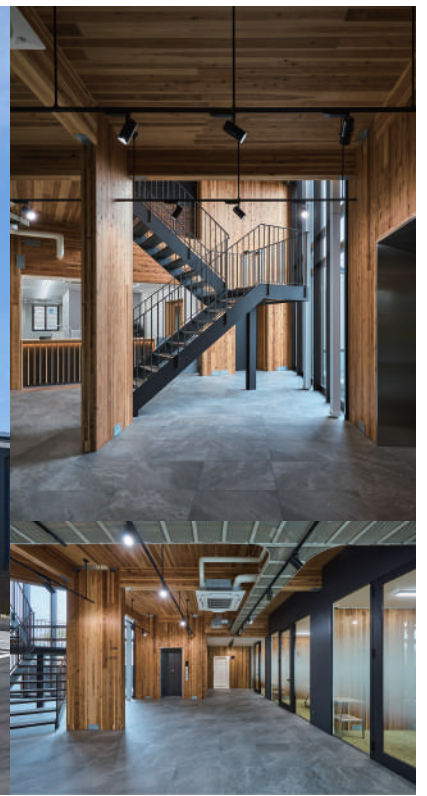
本計画では、ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）の達成を目指し、高効率な設備や断熱性能の向上により、エネルギー消費量の大幅な削減を図りました。また、LCC（ライフサイクルコスト）やLCCO₂（ライフサイクルCO₂）に配慮した設計により、環境への負荷を抑えつつ、長期的な経済性も確保したプロジェクトとなっております。

さらに、国産の森林資源を活用し、再生可能エネルギーを積極的に導入することで、持続可能な社会の実現に寄与することを目指しています。社員一人ひとりが健康で意欲的に働ける空間を提供し、「格好よく働き、格好よく生きる」という企業の理念を体現する、象徴的な木造社屋となりました。

変化に順応するサステナブル・オフィスビル

本プロジェクトは、都市木造技術と最新のCLT（直交集成板）を融合させた、柔軟性と環境性能を兼ね備えた次世代型オフィスビルの設計事例となります。木材が持つ自然素材としての魅力や温もりを最大限に活かしながら、先進的な建築技術を取り入れることで、働く人の快適性や創造性を高め、生産性向上と企業ブランド価値の双方に寄与することを念頭に設計しています。





京都信用保証協会中丹支所整備事業

【基本情報】

基本情報
所在地：京都府福知山市
主要用途：事務所
敷地面積：1,058.39 m²
建築面積：422.33 m²
延床面積：642.83 m²
規模：地上2階建
主体構造：鉄筋コンクリート造 + 木造 (CLT)
建設費：約 400,000,000 円 (税抜)
省エネルギー：Nearly ZEB
補助金：CLT 活用建築物等実証事業
その他
○木材利用推進コンクール／優良施設部門
優秀賞
○ウッドデザイン賞
○京都の木の家表彰事業／最優秀賞 (知事賞)

今回のプロジェクトは、CLTを使用した木造建築の新たな可能性を示すとともに、地域社会の抱える課題に対する解決法、既存ストック活用術としての CASE STUDY として、企業の環境価値を高めた事例となっております。

また、省エネルギー指標として、既存建物の ZEB 改修計画も盛り込み、利用者が快適かつ効率的に働ける環境を整えています。

既存の鉄筋コンクリート造建物を活かしながら、CLT (クロス・ラミネイティッド・ティンバー) を用いた増築とリノベーションを組み合わせることで、必要な床面積の約50%を改修によって確保しています。これにより、建設コストの上昇や資材不足といった社会的課題にも対応できる、現実的かつ柔軟な計画としています。

本プロジェクトは、SDGs の目標を意識しながら、建物のライフサイクル全体におけるコスト (LCC) と二酸化炭素排出量 (LCCO₂) に配慮し、地球環境への負荷をできる限り抑えることを目的とした、持続可能なオフィスビル計画です。

CLTリノベーションによる持続可能な建築計画





フレキシブルな素型の設計とSDGs

本計画は、京都駅から南へ程近く、東寺を望む立地に計画された、省エネルギー性能を検証可能なサステイナブル・オフィスビルです。外壁には京都で初めて採用することとなる WOOD・ALC を採用し、都市景観と調和するデザイン性と高い断熱性能を両立させました。

建物全体は、ZEB (Net Zero Energy Building) や IoT、デジタルサイネージなどのデジタル技術と連携可能な設計とし、将来的なシステム更新にも柔軟に対応できる構成としています。

京都特有の奥行き約 40m という細長い敷地条件に対し、1 階ピロティ形式を採用することで、駐車場 (10 台)・倉庫・事務所・ショールームを複合的に配置しながら、車両・来客・職員の動線を明確に分離しました。

2・3 階はあらかじめ用途を固めすぎず、中央のホワイエを介したゆるやかなゾーニングにより、将来的なレイアウト変更にも適応する可変性・柔軟性を与えました。

SDGs の理念を踏まえ、建物全体でエネルギーの流れを最適化することで、社会課題の解決と技術革新が共存する企業活動の拠点を実現しました。

晶和電気工業株式会社西九条新社屋

【基本情報】

所在地：京都市南区
 主要用途：事務所
 従業員数：32 名
 敷地面積：491.89 m²
 建築面積：295.11 m²
 延床面積：802.28 m²
 規模：地上 3 階建て
 主体構造：鉄骨造、一部 wood.ALC
 建設費：約 270,000,000 円 (税抜)
 省エネルギー：Nearly ZEB





駅前複合ビルの一サキキュレーション

「The Garden Commune」は、近鉄・大久保駅前という利便性の高い立地に計画された複合用途ビルです。商業エリア（A・B・C棟）と集合住宅エリア（D棟）を適切にゾーニングし、各棟は渡り廊下で有機的につながることで、施設全体に一体感のあるサキキュレーションを実現しています。

私たちはこの駅前に、小さくても確かな「森」をつくりたいと考えました。都市化の進む国道沿いにおいて、空や緑、自然の気配が感じられる場所を目指しました。「庭」には人々を惹きつける力があります。木漏れ日や木陰、水音や土の匂いといった五感を刺激する自然の要素が、人の心に深く作用します。

本プロジェクトでは、こうした自然の力を身近に感じられる「庭」をテーマに、訪れる人々にとって心地よく、立ち寄りたくなる空間を創出しました。名称に込めた「Garden」は自然への想い、「Commune」は地域の集いの場としての役割を表しています。フランスやスイスで用いられる「コミュニティ」という言葉に倣い、庭の自由な往来から生まれる人の交流をこの地域に根付かせたいと願っています。

The Garden Commune

【基本情報】

所在地：京都府宇治市

主要用途：医療施設、飲食店、
集合住宅、その他

敷地面積：2,999.67 ㎡

建築面積：1,518.63 ㎡

延床面積：4,043.33 ㎡

商業棟：1,986.86 ㎡

集合住宅棟：1,415.81 ㎡

駐車場など：640.66 ㎡

規模：地上5階建

主体構造：鉄骨造

建設費：約 640,000,000 円（税抜）





株式会社ユタカ西院新社屋

【基本情報】

所在地：京都市中京区
 主要用途：事務所
 従業員数：28名
 主要用途：事務所／オフィスビル
 敷地面積：623.20 m²
 建築面積：360.53 m²
 延床面積：942.64 m²
 規模：地上3階建て
 主体構造：鉄骨造
 建設費：約 320,000,000 円（税抜）

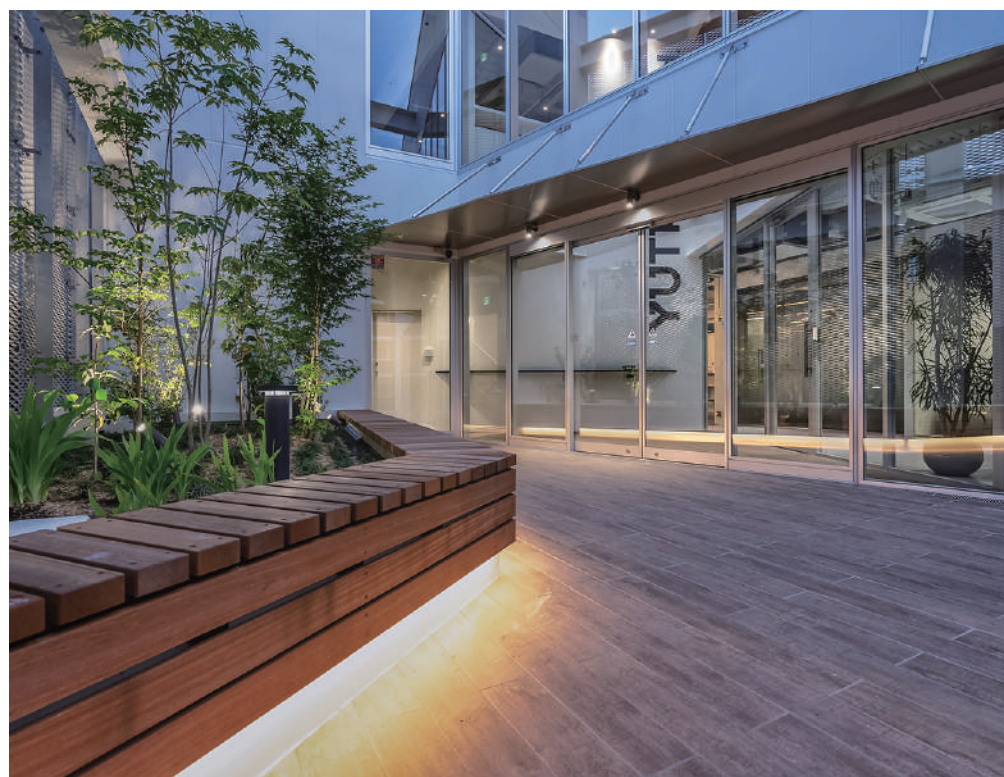
環境変化に適應できた生物だけが生き残るよう
 に、建築にも「進化」ではなく「順応」が求められる時代です。これはオフィスビルに限らず、学校や病院など用途を問わない建築全般に通じる重要な視点と考えます。

本プロジェクトでは、空間構成を限定せず、変化に柔軟に対応可能な、更新性と持続性を兼ね備えた「順応型サステナブル・オフィス」の実現を目指しました。

私たち建築設計者にとっても、従来の効率性重視のオフィス計画にとどまらず、ネットワークやシステムの構築、柔軟な使い方や働き方への対応といった、多様化する要望に応えることが重要となってきました。これらの要素は、社会情勢や技術の進展に大きく影響されるため、固定的な計画ではなく、状況に順応できる設計が必要となってきました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックは、オフィスビルの在り方を根本から問い直す契機となりました。なぜ人は集まり、どのように働くべきか。その本質を見つめ直す中で、建築にも新たな視点が求められています。

サステナブル＝順応型オフィスビル





河原町 CLOTO Building

【基本情報】

所在地：京都市中京区

主要用途：事務所／店舗
／レンタルオフィス

敷地面積：201.88 ㎡

建築面積：160.02 ㎡

延床面積：1,496.95 ㎡

規模：地上9階、地下1階建て

主体構造：鉄骨造

+ 鉄筋コンクリート造

建設費

(建築)：約 240,000,000 円 (税抜)

(耐震補強)：約 180,000,000 円 (税抜)

また、片岡英和建築研究室の設計理念でもある、順応性を備えた建築として、歴史を刻んできた古い建物に更なる、フレキシビリティとサステイナビリティが共存するレジリエンスな建築のあり方を探求したプロジェクトとなっております。

リノベーションの内容としては景観法に適合するファサードの刷新、現行法規に基づく制振構造のマウント、エレベーターの取り替えなど技術的には難易度の高い更新を行っています。

昔は無かった、景観法や高さ規制等々、歴史的な背景を重んじる京都市には様々な規制が付加されています。勿論、今回の計画地もそれら規制対象エリアであり、現況の3階建てのままでは新築計画が成立せず、床面積を減らすことになる為、リノベーションの道を進む事となりました。

昭和47(1972)年生まれのおフィスビル。本プロジェクトは、京都市役所近傍の既存ストック建築物を最大限利用価値の高い建築へと再生した設計事例となります。

京都の景観と調和する既存ストック再生術





亀岡乗馬クラブ | Silvano Stables

【基本情報】

所在地：京都府亀岡市

主要用途：畜舎

敷地面積：8,296.42 ㎡

建築面積：1,093.38 ㎡

延床面積：960.00 ㎡

規模：地上1階建て

主体構造：木造

建設費：約 160,000,000 円（税抜）

※馬場整備費除く

自然環境への負荷を抑え、風景や気候を活かした、建築と自然が共存するプロジェクトとなります。

施設の中心となるクラブハウスは、多くの人々が集い、交流するリビングのような空間として計画し、大きな空間ボリュームの中にも心地よい居場所を生み出し、人と馬、そして自然をつなぐ拠点となる空間を目指しました。

延床面積約10,000㎡に及ぶ大規模施設を木造で計画することで、建設時の環境負荷低減だけでなく、ライフサイクル全体を見据えた持続可能な建築を実現しています。

乗馬クラブとは、人と馬、そして自然環境が日常的に関わり合う特殊な建築です。本計画では、建築が風景の主役となるのではなく、周辺の山並みや森林と調和しながら、その場の環境に寄り添う存在となることを目指しました。

京都の豊かな山林に囲まれた「Silvano Stables」は、人と馬、そして自然環境が関わり合う大規模木造建築となる乗馬クラブの設計事例です。

自然との対話。山林に佇む大規模木造建築



Hidekazu Kataoka Architect & Associates

Address : 3F MB Building 382 Motohonnoji-cho,
Nakagyo-ku, Kyoto 604-8224, Japan

Tel : +81-(0)75-812-0701

Email : info@kataoka-arch.com

Web : <https://kataoka-arch.com/>